臺灣日日新報

科學研究整備策

岡部文部大臣奏上

文部大臣謹話

又復ベ島五回攻撃

驅艦二隻撃破炎上

敵戰鬪機四臺を撃墜

我本土空襲の敵情報告

監視艇〇〇丸の功績

畏し感狀上聞に達す

感狀　特設監視艇第〇〇丸

聯合艦隊司令長官　山本五十六

血で綴る數々の報告

邀撃措置に甚大寄與

汪主席を訪問懇談

青木大東亞相

科學研究の緊急整備

方策要綱を閣議決定

一、科學研究の緊急整備方策要綱

科學技術（文部省所管）機關

綜合的體制整備

岡部文相談話

米學生兵を叩き潰せ

蹶起せよ青少年諸君

產業必勝の覺悟新た

宮中退出・藤原氏謹話

文部省發表

ヤンキー兵

定例閣議

イーデン・ハル、チ會談

東亞共榮の目的具現

マライ軍政監部當局談

條約全文

タイ國擧げて慶祝

執拗の敵機來襲

ベリックペパン、マカッサルに

督府人事發令

人事

節して　マツダランプ

御知らせ

山一證券臺北支店

有斐閣・新刊
日本の在華治外法權
行政法に於ける公法と私法
商行爲法論
會社法

聖紀書房
戰時勞働政策の諸問題
東南アジアの農耕文化
世界の原始民族
印度資源論

昭和十九年度　工場教科書
大日本工業學會出版部

少國民文庫
お能の物語
神代の物語
國史をつらぬく力
日本精神
西方の忠臣
高島秋帆
伊能忠敬
大伴部博麻
南洋の子供たち
加賀の千代女
小學館

社説

科學戰的段階に備へよ
素朴なる精神主義は不可

一

近代戰は科學戰といはれる。しかしながら、戰爭にして科學戰でなかつたことがあらうか。遠く溯つて所謂、弓矢刀馬の未開時代から、飛行機、タンク、潜水艦の所謂近代的科學戰時代に及ぶまで、戰爭の本質そのものに、變化がない限り、戰爭はつねに科學戰ではなかつたか。すくなくとも、戰爭が武器をもつて、唯一の戰爭手段として相闘ふことを意味するならば、すべて戰爭といふ戰爭はつねに科學戰であつたのである。何故ならば、弓箭刀槍と雖も、ある意味に於て科學的基礎によらざるを得ないからである。……

二

……

三

……

增產陣を行く

州下の米倉、蘭陽
前途に多幸を約束

蘭陽 ふ闘 村畠 (台北州の巻)

增產陸路打開必須

生產倍加實現
臺灣化成蘇澳工場

……(完)=篠崎=

さすがは、米英式
敵の内幕

英國の紙不足

戰死者の殘算

米兵器廠死傷者

米國の反ソ運動

船舶運航體制
整備と
南日本汽船

殉職船員へ公葬の禮
交通局 公葬執行要領を決定

マライの牧童 鈴木亞夫畫並に文

決戰期に入り

英の謀略戰深刻
惡辣な組織的諜報網

敵を曝く

英植民地の飢餓
欺瞞政策と革命の危機

(英紙が別抉 週刊)

在留邦人の光明・河內國民學校…

ハノイの國民學校創立は在留邦人に一つの光明を齎した……

重慶物價言語に絕す
公務員の轉業者續出

內地の港灣荷役視察員派遣

獎勵金等分配案決定
高雄港灣運送業會設立

セメント增產協議會

新竹茶業統制
會社設立成る

市況 (二十日)

肺結核 肋膜炎 トクレイズ

東久邇宮妃殿下
傷痍軍人に御仁慈

樞軸海空軍の好餌
コルベット艦とは

尋ね人

貸借對照表

東久邇宮妃殿下　傷痍軍人に御仁慈

結婚御奬勵御歌を下賜

植田傷痍軍人會會長謹話

本庄軍事保護院總裁謹話

大日本婦人會山內會長謹話

海鷲の神技、鋭い威

敵潜水艦二隻見事撃沈

隻手の開發戰士に感謝の義手贈呈

奥村六郎氏に還暦

花蓮港廳出身の二勇士戰歿

故久保教授に幣帛御下賜

圓滑適正な配給は生活を明朗にする

桝山皇奉經濟部參事に訊く

商業

配給

心構

大空へ燃ゆる情熱

新竹州　學徒の赤心益々熾烈

工員第二陣を養成

新竹州　近く錬成所新設

明朗配給週間　日の顔笑切親

親切は商業者の生命

語る人　商奉團員能宗定一氏

私共

熱汗増産譜 ④ 造(船)の(巻)

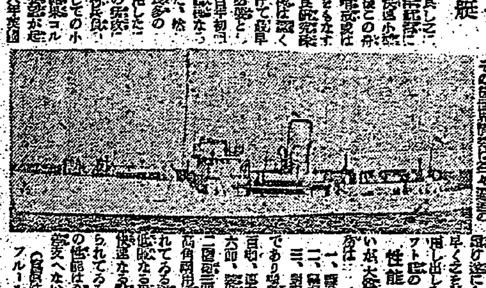
敵機模型と防空展

花蓮港昭和記念館に開催

軍事知識

樞軸海空軍の好餌　コルベツト艦とは

船團護送用の小型艇



性能

市民水泳錬成大會

印南花蓮港兵事部長初巡視

物資配給懇談會

淨汗報酬金を海軍恤兵金に

臺北春競馬

第三週五日目成績

暴風雨災害義捐金 (十六)

小計　千九百七十圓
二錢
累計　五萬九千八百八十一圓廿五錢

今日の映畫

大世界　台劇　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　太平館　第三世界　基隆・國際座　中央劇場　基隆世界館　旭劇場　大和劇場　羅東座　宜蘭座　昇平座

東寶國際館

花山演藝團一行　漫才・浪曲・狂劇　榮座

尋人　氏名　蓬根德

貸借對照表　臺灣有機合成

臺北競馬
八月廿一日(土)廿二日(日)
投票券拾圓
主催　臺北州畜產會

齒痛に頭痛はガオガンに限る

辯護士　木村長十郎　臺北市大和町四丁目八番地

齒科　青木醫院

齒科　杉山醫院

齒科　鎌田醫院

國報康健
戰時だ働かう
冷症・神經痛・ロイマチス　各種皮膚病・溫泉風呂に
ミネラール
臺北州賣藥製造工業組合

心の亞興に體の鐵
洋服地販賣
逢坂商行
臺北市本町一丁目

女子事務員採用
資格　高女卒業程度
申込　昭和十八年八月二十五日迄
野村證券株式會社臺北支店

會葬御禮　久保

中央に呼應、商奉大會

臺中

嘉義

臺東郡

兵隊さんを合同慰問

郡民擧つて租稅の早期完納

海濱に"綠の防砦"
臺東郡下、まづ完成

表彰會を國防獻金

虎尾にも相模俱樂部誕生

表彰制で決戰貯蓄を奬勵

新竹市に公會堂
市營劇場"有樂館"を充つ

赤土地帶を黑土化
いよ〱軌道に乘る
ルーピン根瘤菌の人工培養

徹底的な決戰生活
賞讃の的、横山さん

ケー月卅圓の收入
て生活・殘餘は貯蓄

お山の增産に"理蕃手帳"
授産擔任者に頒ち活用

今度は保甲役員も錬成

手前外れの野菜栽培に成功

配給事務查察指導要綱制定

ご奉公の一端果す
四男を聖戰に送つた軍國の父榜木さん語る

弱蟲青年は眞ツ平
お嫁に行くなら勇ましい兵隊員に

造船へ、巨木カタンも應召

決戰增産に一丸
"農業の村"土庫庄民

お山に轟く"双生兒物語"

海軍志願兵に合同訓練

產業道路復舊なる

本町國語教室開所

罹災者に衣類義捐金贈呈

銃後の獻金

軍司令部（八月二十日）

國防獻金

ラヂオ

椰子（40）
海野十三作
村上松次郎繪

婦人俱樂部　九月號
日本の妻・日本の母　對談
婦人標準服乙型　戰時活動着

風凉笑爆慰樂陣
花山演藝團
笑の姫君　若水九三子
笑の先驅者　秋元五郎
外十數名
天中軒寶月　特別出演
廿一日より七日間
入場料（稅共）　一圓九十錢　小人八十錢
榮座

よく噛めば
一石二鳥の得

臺灣總督府官報

中風藥
胃腸劑
治淋劑
驅毒劑

昭和十八年八月二十一日（土曜日） 臺灣日日新報 第一萬五千六百四十號 （一）
臺灣日日新報 夕刊 八月二十日

日本の產業と能率
御進講を御聽取
藤原內閣顧問召され

【東京電】畏くも天皇陛下におかせられては時局下わが戰力增强に深く御軫念を寄せさせ給ひ嘗に藤田銀次郎氏大で大河內正敏子を召させられ親しく御進講を聽召されたが廿日重ねて內閣顧問藤原銀次郎氏を宮中に召させられ「日本の產業と能率」と題する御進講を聞召された陛下にはこの日午前十時表御座所に出御藤原銀次郎氏に親しく御下問仰せつけられ松平宮相、木戶內府、百武侍從長、蓮沼侍從武官長等の側近奉仕者にも陪聽を許され藤原氏の御進講を終始御熱心に御聽取あらせられた、御政務御多忙の折柄わが戰力增强の顧問に聽かせ給ふ大御心の程は恐懼する次第の極みである

日、タイ條約に調印
タイの新領土編入確定

日泰協力提携の實

タイ國の宿望達成
國力の伸張實に目覺し

日本の好意
ピブン、タイ首相深謝

執拗なる敵の野望
大陸の航空血戰熾烈化

東方

本土

大陸

幕舍の中で煖爐にあたりつつ故郷の話に花咲かす北方〇〇基地の勇士達

高邁なる責任負荷
社長徵用の法制完備

金融統制法案など
泰議會、三重要法案可決

一、文官損減法案

一、非常時金融統制法案

一、回教徒關係法案

赤軍の新攻勢失敗
逆に甚大な損害を蒙る

ソ聯機二千機を獨軍擊墜
七月五日以降

獨本土空襲の九十八機擊墜

擊沈破約六十萬噸
シ島反樞軸軍甚大損害

敵機また不法爆擊
病院船ぶゑのすあいれす丸に對して

隙あれば反擊企圖
南太平洋の敵補給基地

滿、關、支交涉に餘裕
日佛印本年度協定の特徵

即時第二戰線要求
東部戰線異常說くソ聯

米英ソ間に醜惡な論爭

オペラの殿堂 スカラ座全壞

卽效の土地を開發
農地開發營團の新方針

青木大東亞相 現情勢を聽取

愛國心

日本と

運命を

人事

一齊に商奉大會

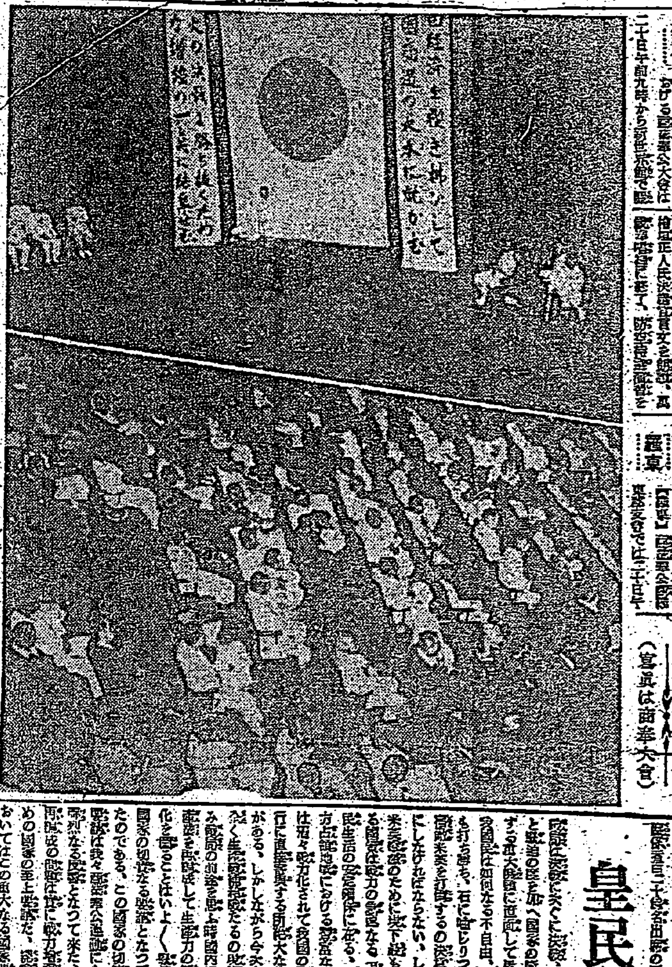
至難な問題も斷乎克服
皇國商道の確立へ直往
堂に漲る烈々の氣魄

この日臺北市における商業奉公大會は公會堂の大集會室で開催され……

一、われ等商業者は公益優先を本領とし商業の新使命に徹せんことを期す

一、われ等商業者は國策に順應し……皇國商道の確立を期す

……



（寫眞は商奉大會）

國策に殉ずるのみ
團員率直に決意表明

中島勝次氏

長谷川武夫氏

決議

大東亞戰爭勃發して茲に一年有八ヶ月、皇軍の向ふところ……

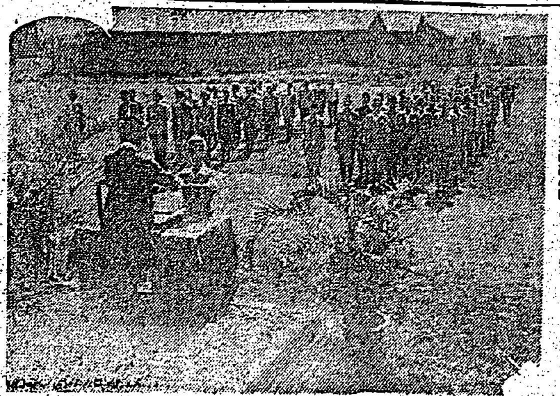
皇民魂發揮の秋
須田本部長 挨拶要旨

高度國防國家建設に
『應召戰士』の誇り持て
山本皇奉事務總長祝辭要旨

—加藤臺北憲兵隊長—

臺灣の重要性に鑑み
責任の重大痛感
着任 加藤臺北憲兵隊長談

賞賜物件傳達式

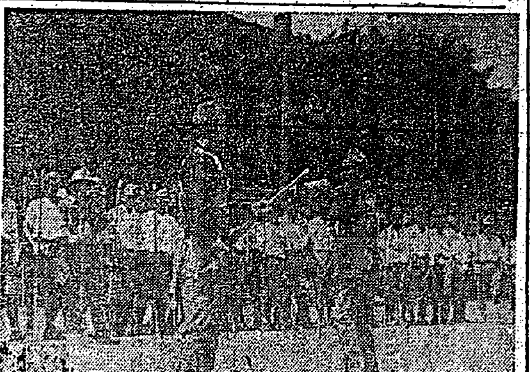


忠靈塔建設資金に一千圓

故宮夏兵長の英靈還る

巣立つ拓南工業戰士
實行で東亞を導け
藤岡訓練部長懇々諭す

銃劍術に敢闘
校長先生部隊



三千五百坪に甘藷、ヒマ
男女青年團、熱汗奉仕

兵隊さんに榮養食糧
まづ共同耕作飼育場設置

疑似コレラは陰性と判る

八千名に豫防注射

方面事業更に強化
花蓮港廳 關係者の蹶起慫慂

璞山一中初の半業生活踏

青年教育者に夏季講習

登山と遠足

アカネ絹 …商會

明朝の番組

尿の病（…）と姙病（…）の惱みに…

後三國志 (182)
（出師の巻）
吉川英治 作
矢野橋村 畫

十日目が來た。……